

平成28年10月24日

各 位

インフラファンド発行者名
東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
いちごグリーンインフラ投資法人
代表者名 執行役員 長崎 真美
(コード番号 9282)
資産運用会社名
いちご投資顧問株式会社
代表者名 代表執行役社長 織井 涉
問合せ先 執行役管理本部長 田實 裕人
(電話番号 03-3502-4854)

投資口の東京証券取引所インフラファンド市場への上場承認のお知らせ

いちごグリーンインフラ投資法人（以下、「本投資法人」という。）は、本日、株式会社東京証券取引所（以下、「東京証券取引所」という。）より、本投資法人の投資口の東京証券取引所インフラファンド市場への上場について承認を得ましたので、お知らせいたします。

本投資法人は、投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号。その後の改正を含みます。）（以下、「投信法」という。）に基づき、2016年6月24日に設立された投資法人です。その資産の運用については、いちご投資顧問株式会社（以下、「本資産運用会社」という。）が、投信法上の資産運用会社として、投信法ならびに本投資法人の規約に定める資産運用の対象および方針に従って行います。

本投資法人は、いちごグループ（注1）がこれまで培ってきた再生可能エネルギー発電施設の運営管理ノウハウを最大限活用し、主として、再生可能エネルギー発電設備等の特定資産への投資を行うインフラ投資法人です。再生可能エネルギー発電施設に対する投資を通じて、長期安定的な投資機会を投資家の皆様に提供し、サステナブル（持続可能）な社会形成への貢献をすることを基本理念としており、長期安定的なキャッシュフローの維持による安定性および資産規模の拡大による成長性の両面を追求した中長期的な運用により投資主価値の最大化を目指します。

再生可能エネルギーは、化石燃料と異なり、利用時に温室効果ガスである二酸化炭素を排出しないため、化石燃料の代替燃料として温室効果ガス削減に大きく貢献するものと考えられます。本投資法人は、今後さらなる拡大が期待される「グリーンインフラ」（注2）という新たなアセットタイプへの投資機会を提供いたします。

グリーンインフラに特化した本投資法人の成長は、わが国の投資市場の発展に貢献するとともに、地球に優しく安全性にすぐれたわが国のエネルギー自給に寄与するものと考えています。

（注1）「いちごグループ」は、いちご株式会社およびその連結子会社（本資産運用会社を含みます。）で構成されます。

（注2）「グリーンインフラ」とは、「環境に優しい（＝グリーン）」および「産業や生活の基盤となる施設（＝インフラ）」からなるアセットクラスを表する造語であり、再生可能エネルギー発電設備等を含みます。

ご注意：本報道発表文は、本投資法人の2017年6月期および2018年6月期の運用状況の予想に関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行および投資口売出届出目論見書ならびに訂正事項分をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本投資法人は、これらの基本理念を追求するため、再生可能エネルギー発電設備のうち、太陽光発電施設を中心に投資を行います。地域・規模分散を勘案した長期的なポートフォリオを構築し、原則として、固定価格買取制度による調達価格および調達期間が確定し、かつ特定契約に基づく発電事業者による電気の供給および電気事業者による電気の買取が既に開始されて1年以上経過した太陽光発電施設を投資対象とします。

東京証券取引所インフラファンド市場に上場することにより、円滑な資金調達の手段を確保し、多様な外部成長機会およびいちごグループのノウハウ等を最大限に活用した成長戦略を推進し、再生可能エネルギー発電設備等の効果的な運営を通じて投資主価値の最大化を目指します。

以 上

*本資料の配布先：兜倶楽部、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

ご注意：本報道発表文は、本投資法人の2017年6月期および2018年6月期の運用状況の予想に関して一般に公表するための文書であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず本投資法人が作成する新投資口発行および投資口売出届出目論見書ならびに訂正事項分をご覧頂いた上で、投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。